

固定資産台帳

- ・固定資産台帳は、会社が必要に応じて作成する（ ）であり、「建物・備品・車両運搬具」などの固定資産の勘定における明細を記入する（ ）である。
- ・主な目的として、個々の固定資産ごとに帳簿価額や減価償却費等を把握するために作成される。
- ・《固定資産台帳の各項目について》

【取得年月日欄】
・固定資産の取得年月日

【期末数量欄・耐用年数欄】
・期末数量欄には、同日に取得した数量を記入する。
・耐用年数欄には、取得した資産

台帳の基準日であり、これをもとに取得年月日から減価償却費等を計算していく。

固定資産台帳 ×7年3月31日現在

取得年月日	名称等	期末数量	耐用年数	期首 (期中取得) 取得原価	期首 減価償却 累計額	差引期首 (期中取得) 帳簿価額	当期 減価償却費
備品							
×4年4月1日	備品A	1	8	120,000	30,000	90,000	15,000
×5年8月1日	備品B	2	10	300,000	20,000	280,000	30,000
×7年1月1日	備品C	3	12	480,000	0	480,000	10,000
小計				900,000	50,000	850,000	55,000

【名称等欄】
・固定資産の名称や型番などを記入する。

【期首(期中取得)取得原価欄・期首減価償却累計額欄・差引期首(期中取得)帳簿価額欄】
・期首時点もしくは期中に取得した固定資産の各金額をそれぞれ記入する。

【当期減価償却費欄】
・当期分の減価償却費を記入する。

練習問題

- ・下記の固定資産台帳を完成させ、各勘定の締切りまで行いなさい。
なお、当社の決算日は×9年3月31日であり、減価償却は月割計算にて計上する。(減価償却方法：定額法、残存価額：ゼロ)

1. 備品X ×6年4月1日取得 150,000円 (1台、耐用年数10年)
2. 備品Y ×8年1月1日取得 240,000円 (1台、耐用年数6年)
3. 備品Z ×8年7月1日取得 500,000円 (5台、耐用年数5年)

固定資産台帳

×9年3月31日現在

取得年月日	名称等	期末数量	耐用年数	期首 (期中取得) 取得原価	期首 減価償却 累計額	差引期首 (期中取得) 帳簿価額	当期 減価償却費
備品							
小計							

備品

日付	摘要	借方	日付	摘要	貸方
×8 4 1	前期繰越		×9 3 31	次期繰越	

備品減価償却累計額

日付	摘要	借方	日付	摘要	貸方
×9 3 31	次期繰越		×8 4 1	前期繰越	
			×9 3 31		